

特定非営利法人 国際支援活動協会
理事長 土井田 美恵子 様

御 礼

拝 啓 立春をすぎてから大雪が降るなど、今年は特に異常な気象状況ですが、国際支援活動協会の皆様方におかれましては、ますますご清祥のことと拝察申し上げます。

貴活動協会の会員の皆様は、日々のご支援を、福祉・医療分野をはじめ地域貢献事業などにも幅を広げ、ご支援の輪を定着されるなど益々のご発展の様子、心から敬服致しております。

特に当園に対しましては毎年欠かさずに、入所児童の日々の生活上でなくてはならない物品の購入や設備の整備のためのご援助を賜っており、感謝の念に堪えません。

長きに渡り、貴重なご支援を頂戴致しておりますことは、当園の役員へは毎回の理事会や評議員会に於きまして、ご支援の内容を伝え共有させていただいております。

こうした貴支援協会様からのご支援、並びにウイズ株式会社のエージェントの皆様のご厚情につきましては、前述の当園の役員はじめ、入所中の子どもたちはもとより、職員、更には保護者を含め感謝いたしております。

近年、当園に入所しております子どものほぼ全員が虐待体験を有し、家庭では安心できる生活を送ることが出来ずに育っています。加えて子どもたち個々に発達課題や精神的な不安定さを有し、ほとんどの子どもたちが精神科病棟で入院をした後に当園に入園するなどケアニーズの高い子どもたちになっております。

こうした子どもたちは、家庭基盤は脆弱で、健全な発育が妨げられてきた子どもたちです。特筆すべきはここ最近の入園児童については、県外から措置される子どもたちが急増しており、特に東京都、神奈川県、埼玉県など関東圏から複数の子が入所しています。

そのため当園では、遠方から入所する子どもたちの辛い気持ちを理解すると共に、先ずは生活基盤を整え、安心して安全な環境を提供すると共に、安心できる職員のかかわりを通して愛着関係の築き直しからはじめ、日常の施設環境の整備に努め、加えて当園の子どもたちにしか入学することができない特別支援学校である鳥居本養護学校の先生方とも連携し、学習環境を含めた中で総合環境療法を導入し、教育機関と共に協働しながら、心理面接による治療や児童精神科医療による治療支援を行っています。

更にもう一方で、外部の企業の方々にもご協力をいただきながら将来を見据えた就労・実習体験の他、実習先まで交通機関を利用することなど、様々な体験を通じて社会的スキルを高める取り組みを行っています。

しかしこれらの取り組みの大前提は、子どもたちを大切にすることと実際の姿勢であると考えます。また、同時に子どもたちの安心・安全が守れる環境をしっかりと整えることだとも考えています。こうしたことから、『子どもの幸せを応援する』というスローガンを掲げ、毎日の職員の打ち合わせ時に唱和し確認をしております。

これまでに得られなかった生活環境を整えることが我々の使命であり『子どもたちの育つ権利を保障することである』として職員みんなで共有をしています。

当法人は、滋賀県における福祉の地域差を埋めるべく、県下、1カ所しかない乳児院（京都府に隣接する大津市内に所在）を当園が立地しております、湖東・湖北圏域にも必要であると考え、設置要望を行って参りました。設置を考えた大きな理由は、県下の乳児院には、湖東・湖北圏域から半数以上の子どもたちが入所していることに加え、訪問をする保護者のことを考えた時、大津の乳児院まで1時間半以上は有にかかるといふことがあります。

昨年の3月になって、国は家庭養育を最優先として、新設の乳児院の設置は行わないという答申が出ました。県も国の方針に従う中、当法人と致しましては乳児院の新設を断念せざるを得ない状況になってしまいました。

こうしたことから、老朽化が進んでおります当園の子どもたちの生活棟の改築を行う方向に要望を切り替え、国・県とは協議を進めています。

貴協会様、ウイズ株式会社のエージェントの皆様には、これまで子どもたちの各居室の充実につながる物品の購入、施設設備に対してご支援を賜って参りました。

今年度は、今後の子どもたちの生活を見据えた物品の購入として、子どもたちの下駄箱やロッカー、書庫等の購入にあてさせていただきました。

現在、子どもたちが使用しております下駄箱やロッカーは32年前に現施設を新築してもらった際に新しく入れたもので、この32年の歩みの中で劣化も激しく、ロッカーなどにつきましては鍵のかからないロッカーばかりになっていました。

今回、購入をさせていただきました真新しい下駄箱は、子どもたちが登校する際に気持ちよく送り出し、そして出迎えていてくれます。

また新しいロッカーになったことで、「大切な私物を自分自身で管理が出来るようになって良かった」と、子どもたちも喜んでおります。

皆様のご支援のお陰で、子どもたちの生活が豊かに、そして潤いが出てきています。本当にありがとうございます。

この様に物品の購入と共に御礼がとても遅くなってしまいました。

どうかご容赦の程、お願い申し上げます。

最後になりますが、貴協会の皆様、エージェントの皆様、ご支援を賜っております皆様方の今後の益々のご発展を祈念致しております。

また、寒暖の差がまだまだ激しい時節柄、お体には十分にご留意くださいますようお願い致します。

失礼とは存じますが書中をもって御礼のご挨拶とさせていただきます。

敬 具

2025年3月22日
社会福祉法人 さざなみ学園
理事長 山 添 正

